令和元年度 事業報告書・決算報告書

公益財団法人福武財団

令和 2 年 6 月 20 日

■令和元年度事業報告・決算報告

Ⅰ．事業の状況

今年度は、瀬戸内国際芸術祭 2019 の実施年にあたり、当財団の総力をあげて芸術祭 2019 の成功に向けて取り組んだ。その結果、芸術祭 2019 の来場者数は、ゴールデンウイークを会期に含んだこともあり、118 万人（前回比 113.3%）と過去最高となった。また、New York Times をはじめとした海外主要メディアで取り上げられたこともあり、海外からの来場者の割合が約 23%と、前回から約 10 ポイント伸びた。芸術祭が、国内外からの来場者と地元の方々との交流、そして、地域の活性化につながる活動として根付いてきている。

さて、令和元年度通年でみると、美術館事業全体の来館者数が、予算比 97.1%と計画を下回った。2 月までは順調であったが、3 月に入り、新型コロナウイルスの影響を大きく受けることとなった。感染予防・拡散防止のための全美術施設を対象とした臨時休館（3 月 3 日から 3 月 16 日まで）や、政府によるイベント自粛や海外からの入国制限などの影響が重なり、特に、海外からの来館者が大きく落ち込んだことなどから、3 月度単月の来館者数は予算比 24.8%と落ち込んだ。

令和元年度、当財団の新しいアート活動の展開としては、直島での李禹煥美術館アーチ作品「無限門」、直島の本村地区で古い日本建築を改装した The Naoshima Plan「水」、宮浦ギャラリー六区での瀬戸内「緑川洋一」資料館の展示、犬島家プロジェクト C 邸での半田真規作品の展示などが上げられる。また、犬島における ANTIBODIES Collective によるパフォーミングアーツや、福武ハウスでの「デジャブ－生きている遺産」のイベントも実施された。

また、国際交流分野でも、中国 CGPI（China Global Philanthropy Institute）という社会貢献団体の一員による「アートによる農村再生」の支援継続や、リレーチャイナ基金会や善財クラブという中国の慈善団体のベネッセアートサイト直島への訪問受け入れなども進めた。

助成事業では、新しいプログラムでの 2 年目となり、研修助成などの新しい取り組みが徐々に安定化してきている。また、瀬戸内海地域振興助成では中間報告会も実施された。

そして、寄付受入の面でもいくつか動きがあり、福武家の信託財産様から 200 万米ドルの現金寄付受入、李禹煥様からの作品現物寄付受入、JT International 様からの草間作品現物寄付受入などに加え、令和 2 年 3 月 16 日、福武信子様よりベネッセ株 135 万株の現物寄付をいただいた。当財団としては、基本財産として受け入れ、ご指定どおり、配当を文化・芸術による地域社会の発展に関する事業に活用していく。

改めて、福武信子様をはじめ、寄付者の皆様に対し、深く御礼申し上げます。

定款第４条に掲げる事業として、下記の事業を行った。（敬称略）

A　美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

以下の美術施設の運営を行った。今年度は、瀬戸内国際芸術祭 2019 の実施年ということもあり、各施設とも入館者数を大きく伸ばしている。

①．「地中美術館」の運営

ベネッセアートサイト直島の中核施設として、安藤忠雄設計の環境へ配慮した美術館に、クロード・モネの「睡蓮」シリーズ他を展示、年間 293 日を開館、190,141 人（対前年+22,862 人、113.7%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 14,454 人であった。

また、令和元年度も予約制による運営を継続している。

②．「李禹煥美術館」の運営

安藤忠雄設計の美術館に「もの派」で有名な李禹煥の作品を展示、年間 294 日を開館、86,887 人（対前年+28,677 人、149.3%）の入館があった。

なお、児童等の無料入館者は 5,693 人であった。

③．「直島銭湯『Ｉ❤湯』」の運営

大竹伸朗の作品を展示する直島銭湯「Ｉ❤湯」を年間 276 日開館、37,323 人（対前年+6,067 人、119.4%）の入館者に対し、日本文化の普及と地域交流の場の提供を行った。

なお、運営は直島町観光協会に委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

④．「ANDO MUSEUM」の運営

安藤忠雄建築研究所設計の ANDO MUSEUM は、直島の木造古民家と安藤建築が融合した MUSEUM で、年間 295 日開館、101,533 人（対前年+42,613 人、172.3%）の入館があった。

なお、児童等の無料入館者は 6,055 人であった。

⑤．「宮浦ギャラリー六区」の運営

西沢大良建築設計事務所設計の宮浦ギャラリー六区は、芸術祭秋会期、瀬戸内「緑川洋一」資料館の展示が行われた。なお、年間 33 日開館し、7,604 人の入館があった。

⑥．The Naoshima Plan「水」の運営

直島にある古い日本建築を改装した施設であり、年間 94 日開館し多数の入館者があった。

地域住民等の運営により地元住民と来島者の相互交流を促進した。

⑦．美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理

㈱ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑧．「女根／めこん」の運営

女木島にある大竹伸朗作品となる女根を年間 106 日開館、40,047 人の入館者があった。

運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託している。

⑨．レアンドロ作品「不在の存在」の運営

女木島にあるレアンドロ作品となる不在の存在を年間 106 日開館、33,102 人の入館者があった。

運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託している。

⑩．「犬島精錬所美術館、犬島『家プロジェクト』、犬島 くらしの植物園」の運営

三分一博志設計の「犬島精錬所美術館」に、柳幸典の作品を展示、年間 271 日を開館、41,950 人（対前年+23,772 人、230.8%）の入館者に対し、循環型社会の普及を行った。また、児童等の無料入館者は 2,514 人であった。犬島「家プロジェクト」では、名和晃平、荒神明香、ベアトリス・ミリャーゼス、下平千夏（期中から半田真規作品に展示替え）、オラファー・エリアソン等の作品を展示・運営した。また、自然とともにくらす歓びを体験する「犬島くらしの植物園」の運営も行われた。

⑪．「豊島美術館」の運営

西沢立衛設計の美術館に、空間造形作家で有名な内藤礼の作品を展示、豊島の中核施設として、年間 260 日を開館、100,405 人（対前年+41,269 人、169.8%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 5,922 人であった。

⑫．「森万里子作品（トムナフーリ）」の運営

豊島の森万里子作品「トムナフーリ」は、夜の鑑賞プログラムのみの開館であった。

⑬．「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営

生と死をテーマとしたクリスチャン･ボルタンスキーの作品を展示する美術館。年間 260 日を開館、53,723 人（対前年+27,914 人、208.2%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 2,568 人であった。

⑭．「豊島横尾館」の運営

豊島横尾館は、建築家・永山祐子設計の建築に、横尾忠則の作品を展示した美術館で、年間 259 日を開館、54,342 人（対前年+27,105 人、199.5%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 2,988 人であった。

⑮．「豊島八百万ラボ」の運営

豊島八百万ラボは、アートと科学のコラボレーションにより新たな神話を生み出していく施設で、スプツニ子！による遺伝子組み換えの蚕がつむぐ「運命の赤い糸」にまつわる映像作品とインスタレーションを展開。年間 96 日を開館、8,769 人（対前年+7,313 人、602.3%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 396 人であった。

⑯．「針工場」の運営

針工場は、豊島家浦地区にある旧針工場に宇和島の造船所にあった船型を運び展示した大竹伸朗作品で、芸術祭のテーマである「海の復権」を象徴する施設となっている。年間 91 日を開館、23,477 人（対前年+20,606 人、817.7%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 1,115 人であった。

⑰．「イル ヴェント」の運営

トビアス・レーベルガーの作品を展示する豊島の美術施設「イル ヴェント」は、年間を通して閉館であった。

⑱．「福武ハウス」の運営

小豆島福田地区にある福武ハウス、休校中の福田小学校の施設を活用した西沢立衛設計の美術館で、アジアからの若手アーティストが参加し作品を展開する。年間 106 日を開館、10,171 人の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 1,250 人であった。

⑲．「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」

ア．「地中ストア」の運営

オリジナル品と地中美術館に関係する作家・建築家の書籍類を販売した。

イ．「李禹煥館ストア」の運営

オリジナル商品と李禹煥及び安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

ウ．「直島銭湯Ｉ❤湯ストア」でのオリジナル商品販売

オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

エ．「ANDO MUSEUM ストア」の運営

オリジナル商品と関係する安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

オ．「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営

オリジナル商品と関係する作家の書籍類を販売した。

カ．「女根ストア」の運営

オリジナル商品と関係する大竹伸朗に関するグッズ類を販売した（運営委託）。

キ．「レアンドロカフェ」の運営

女木島の不在の存在のカフェにおいて、飲み物を中心とした軽食を提供した（運営委託）。

ク．「犬島ストア＆カフェ」の運営

犬島精錬所美術館、犬島家プロジェクト、犬島くらしの植物園に関係するオリジナル商品と作家の書籍類を販売した。また、カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供した。

ケ．「豊島美術館ストア＆カフェ」の運営

オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売した。また、カフェでは豊島で取れた食材を中心に飲み物･軽食を提供した。

コ．「ボルタンスキーストア」の運営

オリジナル商品とボルタンスキーに関する書籍類を販売した。

サ．「豊島横尾館ストア」の運営

オリジナル商品と横尾忠則に関する書籍類を販売した。

シ．「豊島八百万ラボストア」の運営

オリジナル商品とスプツニ子！に関する書籍類を販売した。

ス．「針工場ストア」の運営

オリジナル商品と大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

セ．「福武ハウスストア及び福田アジア食堂」の運営

関連作家の書籍・グッズ類を販売するとともに、アジア関連の飲み物・軽食を提供した。

ソ．「地中カフェスペース」の運営委託

㈱ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑳．美術研究の推進

美術館事業の基礎となる美術研究を進めた。特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、令和元年度は、次のような美術研究・国吉研究を実施した。

・第 2 期、2 年目となる岡山大学寄付講座「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」へ 5 百万円の寄付を 2 年継続実施（公益財団法人福武教育文化振興財団との共同寄付）。
岡山大学では、令和元年度も同講座が開講され、延べ 274 名の学生が受講、美術鑑賞教育を学んだ。国吉研究の深化等を期待している。また、令和元年度の活動としては、次の国吉康雄企画展等を実施し、国吉康雄の理解と普及に努めた。
・平成 31 年 4 月 20 日から 5 月 19 日、岡山シティミュージアムにて「ミスターエース　クロスオーバーモダン」展の実施など。
・国吉をテーマとした出張講座も実施され、岡山県立美術館などで約 800 人が受講した。
・また、地域でのアートイベントとして「国吉祭」を実施。都市部での地域協業型や湾岸部・山間地等でのワークショップ巡業型などの形式で実施された。
・国吉作品等を題材とした対話型鑑賞法の研究が、引き続き進められている。
・国吉寄付講座は、令和元年 7 月、岡山芸術文化賞準グランプリ（岡山県より）、令和元年 11 月、岡山市文化奨励賞芸術部門（岡山市より）を受賞した。

㉑．アーカイブの整備継続

美術品台帳、美術保存資料、画像、動画ストレージなど、美術館アーカイブの整備が急速に進んで来ている。また、その活用についても、展示企画、広報誌、新人研修などの場面で広がりをみせてきた。

㉒．美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進、景観保全の推進

美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。これらを顕在化させた体験プログラムの開発等による地域振興につなげる活動や、美術施設周辺における景観保全の動きも進んできている。

㉓．当財団美術施設としてのベネッセハウス内作品展示

令和 2 年 1 月 24 日より、ベネッセハウス内の一部スペースを賃借することにより、ベネッセハウスミュージアムの一部を当財団の美術施設として運営した。これにより、展示場所の拡大を図り、公益性の観点から、当財団所有作品の積極的な公開を行った。今年度は 66 日を開館した。

B　美術に関するイベント並びに国際交流事業

①．「シンポジウム」の開催

瀬戸内国際芸術祭 2019 の一環として、次のシンポジウムが開催された。

■瀬戸内アジアフォーラムの実施

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

共催：公益財団法人福武財団

日時：令和元年 8 月 21 日～24 日

場所：香川県高松市かがわ国際会議場、小豆島オリーブホール

目的：アジアの国や地域でアートによる地域づくりに取り組む人々が集い、経験を分かち合い、学び合うことを通して、持続可能な関係性を築く

テーマ：「瀬戸内アジアフォーラムが目指すもの」、「地域芸術祭とアジア」

参加者・ゲスト（敬称略）：ムサリム・アファンディエフ（国連世界観光機関事業変革シニアオフィサー）、アンソニー・ガードナー（オックスフォード大学ラスキン・スクール・オブ・アート所長）、池澤夏樹（作家）、および、中国、韓国、台湾、香港、ベトナム、カンボジア、マレーシア、タイ、バングラデシュ、オーストラリア、インドネシア等、15 の国と地域から、約 60 名の方々が参加。

プログラム：オープニングセッションとして、国連幹部、大学アート所長などの講演で盛況を博したのち、アジアの芸術祭事例紹介、アジア各国からのプレゼンテーション、小豆島のアートツアーなどでの現場体験をへて、参加者の相互交流が促進されるとともに、瀬戸内国際芸術祭への理解と関心が一層深められた。

②．「教育普及及びプログラム」の実施

ア．キッズインミュージアム（対象：小中学生）

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施した。地中美術館や李禹煥美術館にて、地元の小学生向けプログラム等も実施している。

イ．プライベートツアー（対象：一般）

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリーツアーを開催し、ミュージアムスタッフとともに、美術館を体験するプログラムを提供した。

ウ．ナイトプログラム（対象：一般）

地中美術館の一部作品において開催。日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供した。

エ．地域コンテンツとの一体化プログラム（対象：一般）

直島町役場スタッフと共同で直島建築ツアーを実施した。直島建築を通じて、直島の町づくりの思想を伝える機会となった。また、美術施設や地域コンテンツに関連した各種ワークショップや講演会等も実施されている。

③．「米＆食プロジェクト」の実施

直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供した。豊島においては、「食とアート」に結び付く活動とした。

④．国際交流

□海外広報

海外広報の分野では、瀬戸内国際芸術祭 2019 の効果もあり、海外の新聞・雑誌・WEB など多くの広報メディアに取り上げられた。海外のメディア露出としては、244 件（国内を含めた全体の 40%）、アート・建築の切り口でベネッセアートサイト直島の変遷を交えた内容の露出が増加してきている。

□中国プロジェクト

・中国の CGPI という社会貢献団体の参加メンバーが、山東省淄博市沂源県桃花島にて「アートによる農村再生」プロジェクトを推進している。今年度も、引き続き、参加メンバーによる桃花島“家プロジェクト” が進められた。

このプロジェクトは中国側が事業主体であり、当財団は、直島メソッドとその背景にある基本理念の普及という立場でこのプロジェクトに協力している。

・中国側主体の活動ではあるが、福武哲学書「WITH ARTS MY WEAPON」（英語版）が発行された。これに続いて、中国語版の発行も予定している。

□その他の国際交流

・令和元年 6 月 30 日～7 月 3 日、リレーチャイナ基金会（公益慈善活動に関心のある中国富裕層二代目企業家等組織）のメンバー22 名が BASN に来島され、直島での活動を体感されるとともに、公益資本主義、直島メソッドとその背景にある基本理念を学んでいただいた。

・令和元年 7 月 30 日～8 月 3 日、中国の善財クラブの 10 名が BASN に来島された。善財とは、中国の公益活動家の間で近年提唱され始めた概念で、富を社会や人々のために使うこと。BASN 及び男木島、女木島、大島を訪問され、直島におけるアート・建築・自然を融合させた公益慈善活動の在り方を学ばれた。

・また、中国の北京、上海、深センなどでは、BASN の活動紹介と基本理念の普及をテーマとした、理事長による海外講演も多数実施された。

⑤．瀬戸内国際芸術祭の共催

□瀬戸内国際芸術祭 2019 を開催実施

名称：瀬戸内国際芸術祭 2019（Setouchi Triennale 2019）

テーマ：「海の復権」

開催期間：春：2019 年 4 月 26 日（金）～ 5 月 26 日（日） 31 日間

夏：2019 年 7 月 19 日（金）～ 8 月 25 日（日） 38 日間

秋：2019 年 9 月 28 日（土）～ 11 月 4 日（月） 38 日間 の 会期総計 107 日間

会場：直島、犬島、豊島、男木島、女木島、小豆島、大島、高松港周辺、宇野港周辺

（春）沙弥島、（秋）本島、粟島、伊吹島、高見島

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長：浜田 恵造（香川県知事）

名誉会長：真鍋 武紀（前香川県知事）

総合プロデューサー：福武 總一郎

総合ディレクター：北川 フラム

来場者数実績：1,178,484 人

参加実績：32 の国と地域から 230 組の作家が参加

作品・イベント数実績：作品数は 214 点、イベント数は 35

経済波及効果：180 億円

□瀬戸内国際芸術祭 2019 における新規美術施設建築およびイベント実施（当財団関連分）

平成31年3月までに既にオープンしていた、犬島家プロジェクトA邸ベアトリス作品等に加え、直島の李禹煥美術館アーチ作品「無限門」、犬島家プロジェクトC邸半田真規作品、直島の宮浦ギャラリー六区での瀬戸内「緑川洋一」資料館の展示、小豆島福武ハウスでのアジア作品の展示などを実施した。

また、美術施設建設以外でも、犬島におけるパフォーミングアーツの公演や小豆島における交流イベントなども次のとおり実施した。

・令和元年 10 月 13 日～14 日、犬島におけるパフォーミングアーツとして、ANTIBODIES Collective による「エントロピーの楽園－第 2 章－」が実施された。初日予定の 10 月 12 日分は、台風接近により中止となったが、残りの 2 日は予定どおり実施され、301 人の来場者があった。

・令和元年 7 月 21 日、小豆島の福武ハウスにて、アジア・アート・プラットフォーム「デジャブ－生きている遺産」が実施された。台湾、インドネシア、香港、タイからの参加チームによるパフォーマンスとアジアの屋台やワークショップなどが実施され、336 名の来場者があった。アジアと地元の方々との交流が促進された。

平成 30 年度と令和元年度の 2 カ年における芸術祭施設関連支出合計は、総額で 499,529 千円（予算 500,000 千円）となった。なお、そのうち、瀬戸内国際芸術祭実行委員会への負担金・協賛金の支払いとして、2 カ年で 200,000 千円を実行している。瀬戸内国際芸術祭 2019 の 2 カ年での支出明細は、次項のとおりとなっている。

瀬戸内国際芸術祭2019　芸術祭２カ年予算・実績（平成30年度～令和元年度）

（単位：千円）

分類	アートプロジェクト名	平成30年度			令和元年度			２カ年合計		
		予算	実績	予算差	予算	実績	予算差	予算	実績	予算差
直島	李禹煥美術館アーチ作品追加	83,867	83,867	0	7,503	7,503	0	91,370	91,370	0
	家プロはいしゃ大竹タイル画	5,751	5,751	0	0		0	5,751	5,751	0
	宮浦ギャラリー六区緑川展	0	0	0	5,610	5,832	222	5,610	5,832	222
犬島	A邸荒神作品撤去	430	430	0	0	0	0	430	430	0
	A邸ベアトリス作品設置	30,920	30,920	0	0	0	0	30,920	30,920	0
	C邸半田作品設置	12,830	12,830	0	10,648	10,648	0	23,478	23,478	0
	犬島ステイ	8,764	8,764	0	22,041	22,631	590	30,805	31,395	590
	犬島くらしの植物園コンポストイレ他	0	0	0	2,775	2,775	0	2,775	2,775	0
豊島	八百万ラボ作品イベント	0	0	0	199	199	0	199	199	0
	針工場作品展示増強	106	106	0	6,620	6,620	0	6,727	6,727	0
	横尾館イベント展示	0	0	0	0		0	0	0	0
小豆島	福武ハウス作品展示	41,786	41,786	0	17,469	15,536	△ 1,933	59,255	57,322	△ 1,933
	アジア交流・フォーラム・イベント	0	0	0	5,641	7,685	2,044	5,641	7,685	2,044
アートPJ合計		184,454	184,454	0	78,507	79,429	922	262,961	263,883	922
活動費		3,179	3,179	0	6,293	4,967	△ 1,326	9,472	8,146	△ 1,326
アート芸術祭合計		**187,633**	**187,633**	**0**	**84,800**	**84,397**	**△ 404**	**272,433**	**272,030**	**△ 404**
負担金・協賛金他合計		**105,615**	**105,615**	**0**	**121,951**	**121,884**	**△ 67**	**227,567**	**227,500**	**△ 67**
芸術祭合計		**293,248**	**293,248**	**0**	**206,752**	**206,281**	**△ 471**	**500,000**	**499,529**	**△ 471**

C　美術に関する情報提供並びに出版事業

①．情報提供事業

活動全体をカバーするホームページ「ベネッセアートサイト直島」を㈱ベネッセホールディングスと共同で運営中。アート施設の紹介等に加え、「ストーリー」では、ベネッセアートサイト直島の活動や、瀬戸内の島々で日々起こる出来事をレポートし、トピックスとして紹介している。また、ソーシャルメディアを活用し、ツイッター等での情報発信も継続中。

②．機関紙及び美術に関する出版物の刊行

ア．広報紙の刊行

今年度は、年４回、以下の広報誌を発行した。

令和元年７月号：集落とともにあるアート

令和元年 10 月号：李禹煥美術館「無限門」

令和２年１月号：瀬戸内という場の力

令和２年４月号：SETOUCHI 企業フォーラム

ベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内、国外に向けて発信している。

イ．カタログ・ハンドブック等の刊行

地中美術館、豊島美術館など、主要施設のカタログ・ハンドブック等を刊行している。施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物としている。

D　地域振興助成

①．アートによる地域振興助成

ア．事業助成

令和元年度の事業助成については、次の助成を実施した。

公募助成：16 件、24,000 千円

また、令和２年度に向けての募集・選考活動の準備を進めている。

イ．研修助成

助成：3 件、2,170 千円（非公募）

アートによる地域振興を学びたい国内の方、海外の方へ研修助成を実施。

また、令和２年度に向けての募集・選考に向けての準備を進めている。

②．瀬戸内海地域振興助成

令和元年度の瀬戸内海地域振興助成については、次の助成を実施した。

公募助成：9 件、6,830 千円

令和２年度に向けての募集・選考活動の準備を進めている。

□中間報告会の実施

瀬戸内海地域振興助成に係る中間報告会を、次のとおり実施した。

実施日：令和元年９月７日～8 日

場所：愛媛県今治市大三島

参加助成先：7 団体（11 名）

内容：助成先 7 団体 11 名の方に参加いただき、プレゼン方式での中間報告会を実施。全員が他のプロジェクト報告を聞きながら、各々のプロジェクトを振り返るよい機会となった。その後のワークショップでは、各プロジェクトの抱える課題の共有も行われた。また、地域の活動視察として、大三島で活動するみんなのワイナリーの葡萄畑見学や、芸予諸島に残存する古民家を住み継ぐため廃業された旅館の活用事例等についても学んだ。

E　地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行った。

令和元年度共催支援（４件）

□瀬戸内国際芸術祭 2019 の開催実施

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

□大地の芸術祭（新潟県越後妻有）

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

□豊島唐櫃　棚田プロジェクト（香川県豊島）

豊島「食プロジェクト」推進協議会主催の活動を積極的に支援した。

□「瀬戸内全誌」の刊行準備（香川県）

「瀬戸内全誌」の刊行に向け、「『瀬戸内全誌』中間報告書　「間」からみる瀬戸内－瀬戸内全誌のための素描」の刊行を積極的に支援した。

令和元年度自主・共催助成として、26,400 千円（上記 4 件合計）を実施した。

F　地域振興のためのファンドレイジング

①．ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営

「ふるさと納税」寄付制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられることから、これを支援し紹介するファンドレイジングサイトを運営している。

②．豊島「食プロジェクト」に関するファンドレイジング

豊島唐櫃　棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進している。また、豊島棚田収穫祭にてファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を行っている。

G　管理部門の事業報告

①．瀬戸内国際芸術祭 2019 の成功に向け芸術祭テーマ毎の収支管理の徹底を行った。

②．減配の中、財政基盤の再構築と積立金の仕組み整備を行った。

③．消費税 10%への対応とシステム面での業務効率化を進めた。

④．人材育成委員会を設置し、人材の採用、育成の強化に努めた。

⑤．環境改善委員会の活動により、現場の声を聴きつつ、職場環境、住環境の整備を進めた。

⑥．直島における美術館事業スタッフの住環境整備は、仕切り直しとなり、次年度の取り組みへ。

⑦．ガバナンスの効いた組織運営と芸術祭年における災害・事故などのリスク管理を徹底した。

⑧．理事会・評議員会の確実な実施による公益法人組織運営を推進した。

⑨．ベネッセアートサイト直島内各組織が一体となった会議体の運営を実行した。

H　附属明細書

附属明細書に記載する事項なし。

Ⅱ．処務の概要

1）役員等に関する事項　（令和２年３月 31 日現在）

職名	常勤 非常勤	氏名	就任（重任） 年月日	担当職務	報酬	現職	備考
代表理事 （理事長）	非常勤	福武　總一郎	平成30年6月9日	業務の統括 地中美術館館長他	有	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問	
代表理事 （副理事長）	非常勤	福武　英明	平成30年6月9日	理事長代理	有	株式会社ベネッセホールディングス 取締役	
代表理事 （副理事長）	非常勤	福原　賢一	平成30年6月9日		有	株式会社ベネッセホールディングス 特別顧問	
業務執行理事 （常任理事）	非常勤	北川　フラム	平成30年6月9日	地中美術館館長 代理他	有	株式会社アートフロントギャラリー 代表取締役会長	
理事	非常勤	安藤　忠雄	平成30年6月9日		有	株式会社安藤忠雄建築研究所 代表取締役	
理事	非常勤	梅原　利之	平成30年6月9日		有	四国旅客鉄道株式会社 顧問	
理事	非常勤	金代　健次郎	令和1年6月8日		有	公益財団法人福武財団 前事務局長	新任
理事	非常勤	樺山　紘一	平成30年6月9日		有	印刷博物館 館長	
理事	非常勤	小林　眞一	平成30年6月9日		有	直島町長	
理事	非常勤	鈴木　寛	令和1年7月19日		有	東京大学公共政策大学院　教授 慶應義塾大学政策・メディア研究科　教授	新任
理事	非常勤	真鍋　武紀	平成30年6月9日		有	前香川県知事	
監事	非常勤	尾尻　哲洋	平成30年6月9日		有	辻・本郷税理士法人 特別顧問　税理士	
監事	非常勤	沼　澄夫	平成30年6月9日		有	沼澄夫税理士事務所 代表	

※令和２年３月 31 日現在の評議員数は９名、選考委員数は 10 名です。

2）職員に関する事項　（令和２年３月 31 日現在）

職名	常勤 非常勤	氏名	採用（就任） 年月日	担当職務	報酬	備考
事務局長	常勤	宇野　惠信	平成27年9月1日	経営企画本部長、アート本部長 地域・アジア支援本部長	有	
事務局次長	常勤	脇　清美	平成29年8月1日	アドミニ本部長、広報本部長 直島本部長	有	
事務局次長	非常勤	松浦　俊明	平成26年9月1日	財務担当部長	有	㈱efuから出向
部長	常勤	岩下　洋子	平成30年7月1日	豊島、犬島本部長	有	
部長	常勤	石井　一夫	平成23年1月1日	経理担当部長	有	
部長	常勤	山根　孝規	平成16年6月1日	総務・人事担当部長	有	
部長	常勤	大内　航	平成22年5月13日	アートマネジメント担当部長	有	
部長	常勤	占部　隆子	平成21年4月1日	直島運営担当部長	有	
部長	常勤	竹之内　千夏	平成21年4月1日	豊島運営担当部長	有	
部長	非常勤	塩田　基	平成27年4月1日	経営企画担当部長	有	㈱ベネッセホールディングスから出向

※令和２年３月 31 日現在の正職員数は 41 名、契約職員数は 43 名、アルバイトは 53 名です。

３）会議等に関する事項

①．理事会

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
令 和 元 年 5 月 21 日	□第 52 回理事会（決議の省略） 平成 30 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件 平成 30 年度事業報告・決算報告承認の件 第 27 回定時評議員会開催の件	 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令 和 元 年 6 月 8 日	□第 53 回理事会 平成 30 年度事業報告・決算報告についての内閣府への電子申請の件 美術作品 2 点購入の件 李禹煥作品現物寄付受入の件 規程類改訂承認の件 令和元年度修正収支予算承認の件 令和元年度関連当事者との取引承認の件 地域振興助成に係る募集要項承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告（資金運用報告含む） 瀬戸内国際芸術祭 2019 の状況報告 岡山大学国吉康雄寄付講座の状況報告 今後のスケジュール案内	 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 該当理事より報告 事務局より報告 事務局より報告 事務局より報告
令 和 元 年 6 月 15 日	□第 54 回理事会（決議の省略） 議決権行使承認の件（3 分の 2 以上の特別決議）	 全会一致で承認可決
令和 2 年 1 月 17 日	□第 55 回理事会（決議の省略） ベネッセハウスミュージアムの一部賃貸と運営委託の件 美術作品 1 点寄託受入（ベネッセハウスミュージアム展示予定）の件 美術作品 4 点寄託受入（福武ハウス展示予定定）の件	 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
令和 2 年	□第 56 回理事会（決議の省略）	
3 月 11 日	株式会社ベネッセホールディングス株式現物寄付受入の件	全会一致で承認可決
	株式会社 efu からの宮浦土地・建物購入の件	全会一致で承認可決
	株式会社アートフロントギャラリーからの作品購入の件	全会一致で承認可決
	地域振興助成および地域活動の共催支援（自主・共催助成）に係る助成先承認の件	全会一致で承認可決
	令和元年度第 2 次修正予算承認の件	全会一致で承認可決
	美術館事業積立資産の新設および関連規程改訂の件	全会一致で承認可決
	福武家信託財産からの寄付金受入の件	全会一致で承認可決
	令和 2 年度事業計画・収支予算承認の件	全会一致で承認可決
	令和 2 年度「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認の件	全会一致で承認可決
	令和 2 年度事業計画・収支予算等についての内閣府への電子申請の件	全会一致で承認可決
	代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告（資金運用報告含む）	該当理事より報告
	瀬戸内国際芸術祭 2019 の結果報告	事務局より報告
	今後のスケジュール案内	事務局より報告

②．評議員会

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
令 和 元 年	□第 27 回定時評議員会	
6 月 8 日	平成 30 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件	全会一致で承認可決
	平成 30 年度事業報告・決算報告承認の件	全会一致で承認可決
	定款変更の件	全会一致で承認可決
	理事選任の件	全会一致で承認可決

4）許可、認定、承認、証明等に関する事項

申請年月日	申　請　事　項	認定等年月日	備　　考
該当なし			

5）契約に関する事項

契約年月日	契約相手先	契約の概要
平成 31 年 4 月 1 日	㈱ベネッセホールディングス、三木あき子	アドバイザリー契約
令和元年 9 月 1 日	㈱efu	社員出向契約
令和元年 10 月 1 日	北川フラム	アドバイザリー契約
令和 2 年 1 月 17 日	㈱ベネッセホールディングス	施設賃貸契約
令和 2 年 1 月 17 日	㈱直島文化村	美術施設運営業務委託契約
令和 2 年 3 月 18 日	㈱efu	土地建物売買契約

6）寄附金に関する事項

寄付年月日	相手先	寄付目的	寄付金額（円）	備考
令和元年 6 月 24 日	福武家の信託財産	施設運営	214,572,100	現金
令和元年 7 月 1 日	李 禹煥	美術充実	220,301,100	「無限門」現物
令和元年 7 月 1 日	李 禹煥	美術充実	51,502,060	「対話」現物
令和元年 8 月 28 日	JT International	美術充実	64,884,307	作品現物
令和元年 9 月 18 日	西 瑞子	販売用	21,000	絵はがき現物
令和元年 10 月～11 月	一般来館者	施設維持	113,458	募金現金
令和 2 年 3 月 16 日	福武 信子	美術事業	3,036,150,000	株式現物

7）行政庁（内閣府）からの指示事項

指示年月日	指　示　事　項	履行状況
該当なし		

8）税法上の収益事業の有無

該当なし

9）その他重要事項

該当なし

令和元年度決算報告書（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

Ⅰ．貸借対照表

Ⅱ．正味財産増減計算書

Ⅲ．正味財産増減計算書内訳表

Ⅳ．財務諸表に対する注記

Ⅴ．附属明細書

Ⅵ．財産目録

Ⅶ．予算対比正味財産増減計算書

Ⅷ．予算対比収支計算書（収支ベース）

Ⅸ．島別施設別収支計算書　【参考用】

※　「監査報告書」

Ⅰ．貸借対照表（令和２年３月31日現在）

Ⅰ－１）貸借対照表　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	154,450,976	120,214,678	34,236,298
売掛金	2,352,308	42,053,344	△ 39,701,036
未収金	8,094,162	19,680,604	△ 11,586,442
棚卸資産	85,766,739	68,136,025	17,630,714
前払金	992,251	7,179,980	△ 6,187,729
前払費用	4,671,212	3,452,787	1,218,425
立替金	909,843	1,285,200	△ 375,357
仮払金	0	0	0
流動資産合計	257,237,491	262,002,618	△ 4,765,127
２．固定資産			
(1)基本財産			
土地	22,800,000	22,800,000	0
美術品	17,358,830,475	17,358,830,475	0
普通預金	136,279,405	94,345,257	41,934,148
投資有価証券	23,106,062,612	20,407,760,858	2,698,301,754
基本財産合計	40,623,972,492	37,883,736,590	2,740,235,902
(2)特定資産			
芸術祭事業積立資産	314,760,155	274,880,460	39,879,695
助成事業積立資産	100,056,806	110,055,398	△ 9,998,592
修繕積立資産	216,707,259	170,204,448	46,502,811
事務所建設積立資産	30,000,000	30,000,000	0
特定資産合計	661,524,220	585,140,306	76,383,914
(3)その他の固定資産			
土地	482,053,839	437,733,888	44,319,951
建物	3,203,435,815	3,223,291,527	△ 19,855,712
建設附属設備	187,200,757	205,752,953	△ 18,552,196
構築物	225,638,584	260,162,555	△ 34,523,971
機械装置	2,815,377	3,839,484	△ 1,024,107
車両運搬具	34,544	196,992	△ 162,448
船舶	1	1	0
什器備品	28,667,617	31,097,322	△ 2,429,705
美術品	1,862,855,043	1,266,133,853	596,721,190
ソフトウエア	561,842	978,641	△ 416,799
建設仮勘定	3,742,000	202,533,814	△ 198,791,814
敷金	12,210,000	11,210,000	1,000,000
その他投資等	201,810	201,810	0
その他の固定資産合計	6,009,417,229	5,643,132,840	366,284,389
固定資産合計	47,294,913,941	44,112,009,736	3,182,904,205
資産合計	47,552,151,432	44,374,012,354	3,178,139,078
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
買掛金	19,351,571	13,659,378	5,692,193
未払金	6,600,000	13,200,000	△ 6,600,000
未払費用	87,664,281	129,452,383	△ 41,788,102
預り金	6,618,449	8,658,815	△ 2,040,366
前受金	688,074	675,560	12,514
未払消費税等	4,371,900	0	4,371,900
流動負債合計	125,294,275	165,646,136	△ 40,351,861
２．固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	125,294,275	165,646,136	△ 40,351,861
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	41,255,496,712	38,438,876,896	2,816,619,816
（うち基本財産への充当額）	(40,623,972,492)	(37,883,736,590)	(2,740,235,902)
（うち特定資産への充当額）	(631,524,220)	(555,140,306)	(76,383,914)
２．一般正味財産			
一般正味財産合計	6,171,360,445	5,769,489,322	401,871,123
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
正味財産合計	47,426,857,157	44,208,366,218	3,218,490,939
負債及び正味財産合計	47,552,151,432	44,374,012,354	3,178,139,078

Ⅱ．正味財産増減計算書（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

Ⅱ－１）正味財産増減計算書　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
（１）経常収益			
①．基本財産運用益	[295,489,595]	[395,448,058]	[△ 99,958,463]
基本財産受取利息	53,559,595	47,847,058	5,712,537
基本財産受取配当金	241,930,000	347,601,000	△ 105,671,000
②．特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③．事業収益	[1,183,686,359]	[821,345,989]	[362,340,370]
④．受取寄附金	[561,394,025]	[541,477,762]	[19,916,263]
受取寄附金	551,394,025	90,457,762	460,936,263
受取寄附金振替額	10,000,000	451,020,000	△ 441,020,000
⑤．雑収益	[2,323,446]	[418,290]	[1,905,156]
受取利息	2,260	1,936	324
雑収益	2,321,186	416,354	1,904,832
経常収益計	2,042,893,425	1,758,690,099	284,203,326
（２）経常費用			
①．事業費	[1,500,814,459]	[1,398,171,292]	[102,643,167]
期首棚卸高	68,136,025	73,048,160	△ 4,912,135
仕入高	183,252,042	109,904,193	73,347,849
期末棚卸高	△ 85,766,739	△ 68,136,025	△ 17,630,714
給与手当	365,371,312	311,539,434	53,831,878
臨時雇賃金	81,876,354	72,394,974	9,481,380
退職給付費用	5,132,410	4,383,753	748,657
福利厚生費	67,620,237	57,802,284	9,817,953
旅費交通費	34,683,326	29,757,616	4,925,710
通信運搬費	16,283,379	13,111,148	3,172,231
什器備品費	1,898,262	1,372,468	525,794
消耗品費	21,071,513	17,505,099	3,566,414
減価償却費	183,161,314	170,575,796	12,585,518
修繕費	80,632,081	191,251,077	△ 110,618,996
印刷製本費	7,005,938	5,983,471	1,022,467
燃料費	2,415,423	2,553,542	△ 138,119
光熱水料費	29,382,528	27,872,010	1,510,518
賃借料	25,444,037	19,866,792	5,577,245
保険料	16,531,078	16,342,022	189,056
諸謝金	16,555,477	17,362,306	△ 806,829
租税公課	37,872,531	17,695,275	20,177,256
負担金	95,000,000	95,000,000	0
助成費	59,400,000	65,347,154	△ 5,947,154
寄附金	10,000,000	10,000,000	0
宣伝広告費	62,074,073	59,760,997	2,313,076
会議費	14,435,713	2,720,559	11,715,154
交際費	2,463,248	3,269,573	△ 806,325
委託費	71,512,685	54,991,939	16,520,746
雑費	27,370,212	14,895,675	12,474,537

Ⅱ－２）正味財産増減計算書　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
②．管理費	[131,538,573]	[125,310,728]	[6,227,845]
役員報酬	850,000	700,000	150,000
給与手当	58,241,715	46,797,804	11,443,911
臨時雇賃金	2,523,932	1,843,680	680,252
役員退職給付費用	0	100,000	△ 100,000
退職給付費用	1,189,209	1,005,399	183,810
福利厚生費	10,587,308	8,782,002	1,805,306
旅費交通費	10,789,784	14,026,758	△ 3,236,974
通信運搬費	4,855,261	4,388,324	466,937
消耗品費	1,571,241	7,004,799	△ 5,433,558
減価償却費	8,484,393	5,412,835	3,071,558
修繕費	2,241,538	1,259,040	982,498
印刷製本費	1,202,037	1,700,966	△ 498,929
燃料費	213,240	327,455	△ 114,215
光熱水料費	1,581,875	1,046,320	535,555
賃借料	4,244,110	5,083,128	△ 839,018
保険料	761,888	356,590	405,298
諸謝金	3,514,716	3,771,636	△ 256,920
租税公課	995,232	2,154,500	△ 1,159,268
会議費	5,904,162	6,816,933	△ 912,771
交際費	851,833	1,047,193	△ 195,360
委託費	9,312,031	10,112,683	△ 800,652
雑費	1,623,068	1,572,683	50,385
経常費用計	1,632,353,032	1,523,482,020	108,871,012
評価損益等計上前当期経常増減額	410,540,393	235,208,079	175,332,314
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	410,540,393	235,208,079	175,332,314
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益			
①．有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
（２）経常外費用			
①．有価証券売却損	0	0	0
②．固定資産除却損	8,669,270	0	8,669,270
経常外費用計	8,669,270	0	8,669,270
当期経常外増減額	△ 8,669,270	0	△ 8,669,270
当期一般正味財産増減額	401,871,123	235,208,079	166,663,044
一般正味財産期首残高	5,769,489,322	5,534,281,243	235,208,079
一般正味財産期末残高	6,171,360,445	5,769,489,322	401,871,123
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 299,961,340	△ 6,203,944,961	5,903,983,621
特定資産評価損益等	2,942,976	△ 190,000	3,132,976
基本財産受取利息	57,606,837	61,550,509	△ 3,943,672
基本財産受取配当金	217,150,000	311,670,000	△ 94,520,000
特定資産受取利息	220,938	132,557	88,381
受取寄付金	3,036,150,000	0	3,036,150,000
一般正味財産への振替額	△ 197,489,595	△ 689,868,058	492,378,463
当期指定正味財産増減額	2,816,619,816	△ 6,520,649,953	9,337,269,769
指定正味財産期首残高	38,438,876,896	44,959,526,849	△ 6,520,649,953
指定正味財産期末残高	41,255,496,712	38,438,876,896	2,816,619,816
Ⅲ　正味財産期末残高	47,426,857,157	44,208,366,218	3,218,490,939

Ⅲ．正味財産増減計算書内訳表（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

Ⅲ－１）正味財産増減計算書内訳表　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公1	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
１．経常増減の部					
（１）経常収益					
①．基本財産運用益	[158,309,595]	[158,309,595]	[137,180,000]	[0]	[295,489,595]
基本財産受取利息	53,559,595	53,559,595	0	0	53,559,595
基本財産受取配当金	104,750,000	104,750,000	137,180,000	0	241,930,000
②．特定資産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
③．事業収益	[1,183,686,359]	[1,183,686,359]	[0]	[0]	[1,183,686,359]
④．受取寄附金	[561,394,025]	[561,394,025]	[0]	[0]	[561,394,025]
受取寄附金	551,394,025	551,394,025	0	0	551,394,025
受取寄附金振替額	10,000,000	10,000,000	0	0	10,000,000
⑤．雑収益	[2,323,446]	[2,323,446]	[0]	[0]	[2,323,446]
受取利息	2,260	2,260	0	0	2,260
雑収益	2,321,186	2,321,186	0	0	2,321,186
経常収益計	1,905,713,425	1,905,713,425	137,180,000	0	2,042,893,425
（２）経常費用					
①．事業費	[1,500,814,459]	[1,500,814,459]		[0]	[1,500,814,459]
期首棚卸高	68,136,025	68,136,025		0	68,136,025
仕入高	183,252,042	183,252,042		0	183,252,042
期末棚卸高	△ 85,766,739	△ 85,766,739		0	△ 85,766,739
給与手当	365,371,312	365,371,312		0	365,371,312
臨時雇賃金	81,876,354	81,876,354		0	81,876,354
退職給付費用	5,132,410	5,132,410		0	5,132,410
福利厚生費	67,620,237	67,620,237		0	67,620,237
旅費交通費	34,683,326	34,683,326		0	34,683,326
通信運搬費	16,283,379	16,283,379		0	16,283,379
什器備品費	1,898,262	1,898,262		0	1,898,262
消耗品費	21,071,513	21,071,513		0	21,071,513
減価償却費	183,161,314	183,161,314		0	183,161,314
修繕費	80,632,081	80,632,081		0	80,632,081
印刷製本費	7,005,938	7,005,938		0	7,005,938
燃料費	2,415,423	2,415,423		0	2,415,423
光熱水料費	29,382,528	29,382,528		0	29,382,528
賃借料	25,444,037	25,444,037		0	25,444,037
保険料	16,531,078	16,531,078		0	16,531,078
諸謝金	16,555,477	16,555,477		0	16,555,477
租税公課	37,872,531	37,872,531		0	37,872,531
負担金	95,000,000	95,000,000		0	95,000,000
助成費	59,400,000	59,400,000		0	59,400,000
寄附金	10,000,000	10,000,000		0	10,000,000
宣伝広告費	62,074,073	62,074,073		0	62,074,073
会議費	14,435,713	14,435,713		0	14,435,713
交際費	2,463,248	2,463,248		0	2,463,248
委託費	71,512,685	71,512,685		0	71,512,685
雑費	27,370,212	27,370,212		0	27,370,212

Ⅲ－２）正味財産増減計算書内訳表　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公1	小計			
②．管理費			[131,538,573]	[0]	[131,538,573]
役員報酬			850,000	0	850,000
給与手当			58,241,715	0	58,241,715
臨時雇賃金			2,523,932	0	2,523,932
退職給付費用			1,189,209	0	1,189,209
福利厚生費			10,587,308	0	10,587,308
旅費交通費			10,789,784	0	10,789,784
通信運搬費			4,855,261	0	4,855,261
消耗品費			1,571,241	0	1,571,241
減価償却費			8,484,393	0	8,484,393
修繕費			2,241,538	0	2,241,538
印刷製本費			1,202,037	0	1,202,037
燃料費			213,240	0	213,240
光熱水料費			1,581,875	0	1,581,875
賃借料			4,244,110	0	4,244,110
保険料			761,888	0	761,888
諸謝金			3,514,716	0	3,514,716
租税公課			995,232	0	995,232
会議費			5,904,162	0	5,904,162
交際費			851,833	0	851,833
委託費			9,312,031	0	9,312,031
雑費			1,623,068	0	1,623,068
経常費用計	1,500,814,459	1,500,814,459	131,538,573	0	1,632,353,032
評価損益等調整前当期経常増減額	404,898,966	404,898,966	5,641,427	0	410,540,393
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	404,898,966	404,898,966	5,641,427	0	410,540,393
２．経常外増減の部					
（１）経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
（２）経常外費用					
有価証券売却損	0	0	0	0	0
固定資産除却損	8,669,270	8,669,270	0	0	8,669,270
経常外費用計	8,669,270	8,669,270	0	0	8,669,270
当期経常外増減額	△ 8,669,270	△ 8,669,270	0	0	△ 8,669,270
他会計振替前当期一般正味財産増減額	396,229,696	396,229,696	5,641,427	0	401,871,123
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	396,229,696	396,229,696	5,641,427	0	401,871,123
一般正味財産期首残高	5,530,592,692	5,530,592,692	238,896,630	0	5,769,489,322
一般正味財産期末残高	5,926,822,388	5,926,822,388	244,538,057	0	6,171,360,445
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	40,245,060	40,245,060	△ 340,206,400	0	△ 299,961,340
特定資産評価損益等	2,942,976	2,942,976	0	0	2,942,976
基本財産受取利息	57,606,837	57,606,837	0	0	57,606,837
基本財産受取配当金	187,970,000	187,970,000	29,180,000	0	217,150,000
特定資産受取利息	220,938	220,938	0	0	220,938
受取寄付金	3,036,150,000	3,036,150,000	0	0	3,036,150,000
一般正味財産への振替額	△ 168,309,595	△ 168,309,595	△ 29,180,000	0	△ 197,489,595
当期指定正味財産増減額	3,156,826,216	3,156,826,216	△ 340,206,400	0	2,816,619,816
指定正味財産期首残高	30,551,026,896	30,551,026,896	7,887,850,000	0	38,438,876,896
指定正味財産期末残高	33,707,853,112	33,707,853,112	7,547,643,600	0	41,255,496,712
Ⅲ　正味財産期末残高	39,634,675,500	39,634,675,500	7,792,181,657	0	47,426,857,157

Ⅳ．財務諸表に対する注記

１）継続事業の前提に関する注記

該当なし

２）重要な会計方針

（１）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券　…　償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

市場価格のあるもの　…　期末日の市場価格に基づく時価法（売上原価は移動平均法により算定）によっている。

市場価格のないもの　…　移動平均法による原価法によっている。

（２）棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用している。

（３）固定資産の減価償却方法

建物　…　定額法によっている。

建物附属設備　…　定率法によっている。

構築物　…　定率法によっている。

機械装置　…　定率法によっている。

車両運搬具　…　定率法によっている。

船舶　…　定率法によっている。

什器備品　…　定率法によっている。

ソフトウェア（自社利用）…　法人内における利用可能期間（主として５年）に基づく定額法によっている。

（４）外貨建預金の評価方法

決算日の為替相場に基づく時価法によっている。

（５）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3）基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	22,800,000	0	0	22,800,000
美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
普通預金	94,345,257	41,934,148	0	136,279,405
投資有価証券	20,407,760,858	3,746,261,768	1,047,960,014	23,106,062,612
小計	37,883,736,590	3,788,195,916	1,047,960,014	40,623,972,492
特定資産				
芸術祭事業積立資産	274,880,460	39,879,695	0	314,760,155
助成事業積立資産	110,055,398	1,408	10,000,000	100,056,806
修繕積立資産	170,204,448	46,502,811	0	216,707,259
事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	585,140,306	86,383,914	10,000,000	661,524,220
合　計	38,468,876,896	3,874,579,830	1,057,960,014	41,285,496,712

4）基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対する額）
基本財産				
土地	22,800,000	(22,800,000)	(0)	-
美術品	17,358,830,475	(17,358,830,475)	(0)	-
普通預金	136,279,405	(136,279,405)	(0)	-
投資有価証券	23,106,062,612	(23,106,062,612)	(0)	-
小計	40,623,972,492	(40,623,972,492)	(0)	-
特定資産				
芸術祭事業積立資産	314,760,155	(314,760,155)	(0)	-
助成事業積立資産	100,056,806	(100,056,806)	(0)	-
修繕積立資産	216,707,259	(216,707,259)	(0)	-
事務所建設積立資産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	-
小計	661,524,220	(631,524,220)	(30,000,000)	-
合　計	41,285,496,712	(41,255,496,712)	(30,000,000)	-

5）固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位 ： 円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	4,385,363,425	1,181,927,610	3,203,435,815
建物付属設備	507,324,895	320,124,138	187,200,757
構築物	672,541,600	446,903,016	225,638,584
機械装置	19,909,237	17,093,860	2,815,377
車両運搬具	4,132,318	4,097,774	34,544
船舶	3,940,000	3,939,999	1
什器備品	129,863,455	101,195,838	28,667,617
ソフトウェア	17,051,276	16,489,434	561,842
合　計	5,740,126,206	2,091,771,669	3,648,354,537

6）指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内訳	当期末残高
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	53,559,595
基本財産受取配当金	133,930,000
受取寄付金	10,000,000
合　計	197,489,595

7）関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	対象者	法人等の名称	関係内容		住所	資産総額（単位：百万円）	事業の内容	議決権の所有割合	取引の内容	取引金額（単位：円）	科目	期末残高（単位：円）
			役員の兼務等	事業上の関係								
代表理事 理事長	福武 總一郎	㈱ﾍﾞﾈｯｾﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	名誉顧問	－	岡山市北区南方3-7-17	493,370	教育 出版他	8.1%	ﾍﾞﾈｯｾﾊｳｽ他利用料	15,368,260	未払費用	280,812
									ﾍﾞﾈｯｾﾊｳﾐｭｰｼﾞｱﾑ賃借料	1,327,156	未払費用	585,510
									李美術館地代	2,393,844	前払費用	199,487
代表理事 副理事長	福武 英明		取締役						地中ﾁｹｯﾄｾﾝﾀｰ地代	102,000	前払費用	17,000
									宮浦駐車場地代	80,016	－	0
									関連書籍 仕入他	614,260	－	0
代表理事 副理事長	福原 賢一		特別顧問						商品他販売収入	10,639,066	売掛金	238,914
									地中ｶﾌｪ賃料収入	8,166,104	前受金	688,074
業　務 執　行 理　事	北川 フラム	本人	－	－	－	－	－	－	ｱｰﾄﾃﾞｨﾚｸｼｮﾝ報酬	10,092,588	－	0
									上記に係る旅費	238,186	－	0
		特定非営利活動法人 瀬戸内こえびﾈｯﾄﾜｰｸ	代表理事	－	香川県高松市ｻﾝﾎﾟｰﾄ1-1	－	瀬戸内国際芸術祭活動支援	－	美術施設 修繕委託等	12,349,786	－	0
									視察ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ委託等	106,440	－	0
		㈱ｱｰﾄﾌﾛﾝﾄｷﾞｬﾗﾘｰ	代　表 取締役 会　長	－	東京都渋谷区猿楽町29-18	－	美術 全般の ﾃﾞｻﾞｲﾝ・ 制作等	－	ﾚｾﾌﾟｼｮﾝ交通費	82,128	－	0
理　事	鈴木 寛	㈲環境創造研究所	議決権の全数を有する	－	兵庫県神戸市垂水区桃山台4-5-6	－	ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ	－	経営ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ料	3,444,400	未払費用	407,400
監　事	尾尻 哲洋	辻・本郷税理士法人	特　別 顧　問	－	東京都新宿区西新宿1-25-1	－	会計税務ｻｰﾋﾞｽ	－	業務指導料	1,962,000	－	0
評議員	福武 美津子	本人	－	－	－	－	－	－	横尾館賃借料	600,000	前払費用	50,000
		㈱ｻｰｸﾙﾊｳｽｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	代　表	－	香川県小豆郡土庄町豊島家浦2309	－	ｶﾌｪ・ﾚｽﾄﾗﾝ	－	会議等食事代	393,500	未払費用	66,200
		㈱efu	代　表 取締役	－	東京都千代田区5番町6-2	－	ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ	－	出向者費用	1,856,863	未払費用	136,372
									土地・建物購入	13,666,000	－	0
評議員	笠原 良二	㈱直島文化村	代表取締役社長	－	香川県香川郡直島町364番地1	－	宿泊施設･ｱｰﾄ施設の運営管理	－	鑑賞料収入	6,132,218	売掛金	27,260
									商品他販売収入	2,340,333	売掛金	9,429
									美術施設 運営委託等	11,097,761	未払費用	818,958
									出向者費用	13,200,000	未払費用	1,100,000

注：（株）ベネッセホールディングスの資産総額は、令和元年12月31日現在の数字を記載している。

8）公益目的保有財産の明細

公益目的保有財産の明細は、次のとおりである。

（単位：円）

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産 土地		32,550 ㎡ 香川県直島町立石3447-1 22,800,000	公１
基本財産 美術品	直島町立石　地中美術館内 モネ5、タレル3、デマリア1 17,358,830,475		公１
基本財産 普通預金		中国銀行富田町支店 普通預金口座 136,279,405	公１
基本財産 投資有価証券		株式会社ﾍﾞﾈｯｾﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式 5,014,400株 13,794,614,400	公１
基本財産 投資有価証券		公社債、投資信託、 不動産投資証券他 1,763,804,612	公１
その他固定資産 土地		409,649 ㎡ 直島、豊島、犬島 455,609,593	公１
その他固定資産 美術品		直島、豊島、犬島 李、内藤、大竹、ﾎﾞﾙﾀﾝｽｷｰ作品他 1,701,826,994	公１
その他固定資産 建物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 3,038,289,613	公１
その他固定資産 建物附属設備		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 185,722,019	公１
その他固定資産 構築物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 225,638,584	公１
その他固定資産 車両運搬具		直島、豊島、犬島他 軽トラック 34,543	公１
その他固定資産 工具・器具・備品		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 17,980,719	公１
その他固定資産 機械装置		直島、豊島 銭湯、ボルタンスキー他 2,815,377	公１
その他固定資産 ソフトウエア		直島 販売管理システム他 561,842	公１
その他固定資産 建設仮勘定		直島、豊島、犬島 李作品他 3,742,000	公１
その他固定資産 敷金		豊島、犬島 美術施設土地敷金他 12,210,000	公１
その他固定資産 その他投資等		直島、犬島 美術館AED保証金他 27,720	公１
合　計	17,358,830,475	21,361,957,421	

注：　公１は、「文化・芸術による地域社会の発展に関する事業」

注：　公益認定後取得不可欠特定財産はありません。

9）その他

（１）金融商品の状況に関する注記

１．金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債、仕組預金）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

２．金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）にさらされている。

３．金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

Ｖ．附属明細書

１）基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

（単位：円）

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産					
	土地	22,800,000	0	0	22,800,000
	美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
	普通預金	94,345,257	41,934,148	0	136,279,405
	投資有価証券	20,407,760,858	3,746,261,768	1,047,960,014	23,106,062,612
	基本財産計	37,883,736,590	3,788,195,916	1,047,960,014	40,623,972,492
特定資産					
	芸術祭事業積立資産	274,880,460	39,879,695	0	314,760,155
	助成事業積立資産	110,055,398	1,408	10,000,000	100,056,806
	修繕積立資産	170,204,448	46,502,811	0	216,707,259
	事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
	特定資産計	585,140,306	86,383,914	10,000,000	661,524,220

Ⅵ．財産目録（令和２年３月31日現在）

Ⅵ－１）財産目録　　（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金預金	現金手許有高	運転資金として	5,447,456
		中国銀行／富田町支店（№1660533）	運転資金として	26,752,702
		中国銀行／富田町支店（№1727514）	運転資金として	16,224,987
		中国銀行／富田町支店（№1790569）	運転資金として	9,660,510
		中国銀行／富田町支店（№1826181）	運転資金として	750,000
		百十四銀行／直島支店（№0143887）	運転資金として	22,915,413
		百十四銀行／直島支店（№0145413）	運転資金として	14,593,071
		百十四銀行／直島支店（№0153472）	運転資金として	1,633,512
		ゆうちょ銀行／16330（№11114291）	運転資金として	562,263
		ゆうちょ銀行／16370（№9529591）	運転資金として	800,000
		ゆうちょ銀行／16330（№7923031）	運転資金として	126,095
		ゆうちょ銀行／16390（№4775561）	運転資金として	175,816
		ゆうちょ銀行／16360（№5409981）	運転資金として	8,176,576
		ゆうちょ銀行／16310（№10368451）	運転資金として	5,998
		ゆうちょ銀行／16310（№11492091）	運転資金として	189,231
		ゆうちょ銀行／16380（№19147061）	運転資金として	1,288,383
		楽天銀行／第一営業支店（№7331905）	運転資金として	45,148,963
	売掛金		事業収入の売掛金	2,352,308
	未収金		立替請求の未収金	8,094,162
	棚卸資産	地中美術館ストア商品		37,274,472
		李美術館ストア商品		7,392,878
		直島銭湯「Ｉ❤湯」商品		7,659,221
		ANDO MUSEUM ストア商品		530,605
		六区ストア商品		129,129
		女根ストア商品		8,964
		犬島「精錬所」ストア・カフェ商品		6,515,438
		豊島美術館ストア・カフェ商品		21,301,769
		ボルタンスキーストア商品		3,403,950
		横尾館ストア商品		1,021,152
		針工場ストア商品		529,161
	前払金		事業費・管理費に係る前払金	992,251
	前払費用		事業費・管理費に係る前払費用	4,671,212
	立替金		事業費・管理費に係る立替金	909,843
流動資産合計				257,237,491
（固定資産）				
基本財産				
	土地	香川県直島町立石3447-1（9,434㎡）、3448-1（4,003㎡）、3449-1（14,415㎡）、3454-1（4,698㎡）	公的目的事業に使用している	22,800,000
	美術品	絵画：ｸﾛｰﾄﾞ･ﾓﾈ、「睡蓮の池」、200×300cm×2面	公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産として使用している	6,000,000,000
		絵画：ｸﾛｰﾄﾞ･ﾓﾈ、「睡蓮」、200×200cm	同上	3,000,000,000
		絵画：ｸﾛｰﾄﾞ･ﾓﾈ、「睡蓮-柳の反映」、200×100cm	同上	1,900,000,000
		絵画：ｸﾛｰﾄﾞ･ﾓﾈ、「睡蓮の池」、200×100cm	同上	1,900,000,000
		絵画：ｸﾛｰﾄﾞ･ﾓﾈ、「睡蓮-草の茂み」、200×213cm	同上	4,188,830,475
		室内ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ：ｳｫﾙﾀｰ･ﾃﾞ･ﾏﾘｱ、「ﾀｲﾑ、ﾀｲﾑﾚｽ、ﾉｰﾀｲﾑ」	同上	340,000,000
		室内ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ：ｼﾞｪｰﾑｽ･ﾀﾚﾙ、「ｵｰﾌﾟﾝｽｶｲ」	同上	10,000,000
		室内ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ：ｼﾞｪｰﾑｽ･ﾀﾚﾙ、「ｱﾌﾗﾑ、ﾍﾟｰﾙﾌﾞﾙｰ」	同上	10,000,000
		室内ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ：ｼﾞｪｰﾑｽ･ﾀﾚﾙ、「ｵｰﾌﾟﾝﾌｨｰﾙﾄﾞ」	同上	10,000,000

Ⅵ－２）財産目録　（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
基本財産	普通預金	中国銀行／富田町支店（№1826181）	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	88,570,746
		住信SBIネット銀行　ハイブリッド円 (106-1192079)	同上	47,700,634
		住信SBIネット銀行　USドル (106-1192079)	同上	23
		USドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (№1005348)	同上	8,002
	投資有価証券	㈱ベネッセホールディングス株式5,014,400株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	13,794,614,400
		㈱ベネッセホールディングス株式2,743,600株	運用益を管理業務の財源として使用している	7,547,643,600
		公社債（第3回ソフトバンクG利払繰延期限前償還劣後債他2銘柄）	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	259,700,000
		外貨建債券（アップル豪ドル外貨建債券他22銘柄）	同上	892,543,674
		不動産投資証券（GLP投資証券他19銘柄）	同上	353,393,500
		投資信託他（MAXIS JPX 日経インデックス400他5銘柄）	同上	258,167,438
特定資産	芸術祭事業積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店（№1660533）	公益目的事業（芸術祭事業）実施のため	273,196,413
		USドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (№1005348)	同上	41,563,742
	助成事業積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店（№1727514）	公益目的事業（助成事業）実施のため	100,056,805
		NZドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (№1005363)	同上	1
	修繕積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店（№1660533）	公益目的事業（修繕）実施のため	216,707,259
	事務所建設積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店（№1660533）	管理業務の財源とするため	30,000,000

Ⅵ－３）財産目録　（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
その他の固定資産	土地		公益目的事業及び管理業務に使用	482,053,839
	建物		公益目的事業及び管理業務に使用	3,203,435,815
	建物附属設備		公益目的事業及び管理業務に使用	187,200,757
	構築物		公益目的事業に使用	225,638,584
	機械装置		公益目的事業に使用	2,815,377
	車両運搬具		公益目的事業及び管理業務に使用	34,544
	船舶		管理業務に使用	1
	什器備品		公益目的事業及び管理業務に使用	28,667,617
	美術品		公益目的事業に使用	1,862,855,043
	ソフトウエア		公益目的事業に使用	561,842
	建設仮勘定		公益目的事業に使用	3,742,000
	敷金		公益目的事業に使用	12,210,000
	その他投資等		公益目的事業及び管理業務に使用	201,810
固定資産合計				47,294,913,941
資産合計				47,552,151,432
（流動負債）				
	買掛金		事業費に係る買掛金	19,351,571
	未払金		事業費に係る未払金	6,600,000
	未払費用		事業費及び管理費に係る未払費用	87,664,281
	未払消費税		事業費に係る未払金	4,371,900
	預り金		事業費及び管理費に係る預り金	6,618,449
	前受金		事業費に係る前受金	688,074
流動負債合計				125,294,275
（固定負債）				
固定負債合計				0
負債合計				125,294,275
正味財産				47,426,857,157

Ⅶ．予算対比正味財産増減計算書（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

Ⅶ－１）予算対比正味財産増減計算書　（単位：円）

科　　目	予算	決算	差異
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
（１）経常収益			
①．基本財産運用益	[293,615,565]	[295,489,595]	[△ 1,874,030]
基本財産受取利息	56,435,565	53,559,595	2,875,970
基本財産受取配当金	237,180,000	241,930,000	△ 4,750,000
②．特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③．事業収益	[1,220,816,787]	[1,183,686,359]	[37,130,428]
④．受取寄附金	[551,394,025]	[561,394,025]	[△ 10,000,000]
受取寄附金	551,394,025	551,394,025	0
受取寄附金振替額	0	10,000,000	△ 10,000,000
⑤．雑収益	[2,232,340]	[2,323,446]	[△ 91,106]
受取利息	2,101	2,260	△ 159
雑収益	2,230,239	2,321,186	△ 90,947
経常収益計	2,068,058,717	2,042,893,425	25,165,292
（２）経常費用			
①．事業費	[1,516,198,958]	[1,500,814,459]	[15,384,499]
期首棚卸高	68,136,025	68,136,025	0
仕入高	186,622,015	183,252,042	3,369,973
期末棚卸高	△ 86,486,098	△ 85,766,739	△ 719,359
給与手当	369,900,535	365,371,312	4,529,223
臨時雇賃金	83,237,483	81,876,354	1,361,129
退職給付費用	4,713,962	5,132,410	△ 418,448
福利厚生費	66,736,550	67,620,237	△ 883,687
旅費交通費	35,641,077	34,683,326	957,751
通信運搬費	20,648,908	16,283,379	4,365,529
什器備品費	1,699,926	1,898,262	△ 198,336
消耗品費	21,745,467	21,071,513	673,954
減価償却費	182,885,309	183,161,314	△ 276,005
修繕費	80,701,263	80,632,081	69,182
印刷製本費	6,945,977	7,005,938	△ 59,961
燃料費	2,613,632	2,415,423	198,209
光熱水料費	30,681,142	29,382,528	1,298,614
賃借料	25,570,395	25,444,037	126,358
保険料	16,589,833	16,531,078	58,755
諸謝金	17,971,153	16,555,477	1,415,676
租税公課	41,506,319	37,872,531	3,633,788
負担金	95,000,000	95,000,000	0
助成費	59,400,000	59,400,000	0
寄附金	10,000,000	10,000,000	0
宣伝広告費	55,851,253	62,074,073	△ 6,222,820
会議費	15,602,786	14,435,713	1,167,073
交際費	2,707,167	2,463,248	243,919
委託費	71,651,699	71,512,685	139,014
雑費	27,925,180	27,370,212	554,968

Ⅶ－２）予算対比正味財産増減計算書　（単位：円）

科　　目	予算	決算	差異
②．管理費	[137,209,347]	[131,538,573]	[5,670,774]
役員報酬	850,000	850,000	0
給与手当	58,507,332	58,241,715	265,617
臨時雇賃金	2,384,322	2,523,932	△ 139,610
退職給付費用	1,194,266	1,189,209	5,057
福利厚生費	10,704,525	10,587,308	117,217
旅費交通費	14,226,124	10,789,784	3,436,340
通信運搬費	4,739,347	4,855,261	△ 115,914
消耗品費	1,466,058	1,571,241	△ 105,183
減価償却費	8,484,393	8,484,393	0
修繕費	1,660,183	2,241,538	△ 581,355
印刷製本費	1,272,162	1,202,037	70,125
燃料費	287,515	213,240	74,275
光熱水料費	1,584,521	1,581,875	2,646
賃借料	4,525,014	4,244,110	280,904
保険料	710,793	761,888	△ 51,095
諸謝金	3,486,180	3,514,716	△ 28,536
租税公課	966,772	995,232	△ 28,460
会議費	8,051,498	5,904,162	2,147,336
交際費	808,197	851,833	△ 43,636
委託費	9,582,326	9,312,031	270,295
雑費	1,717,819	1,623,068	94,751
経常費用計	1,653,408,305	1,632,353,032	21,055,273
評価損益等計上前当期経常増減額	414,650,412	410,540,393	4,110,019
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	414,650,412	410,540,393	4,110,019
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益			
①．有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
（２）経常外費用			
①．有価証券売却損	0	0	0
②．固定資産除却損	0	8,669,270	△ 8,669,270
経常外費用計	0	8,669,270	△ 8,669,270
当期経常外増減額	0	△ 8,669,270	8,669,270
当期一般正味財産増減額	414,650,412	401,871,123	12,779,289
一般正味財産期首残高	5,769,489,322	5,769,489,322	0
一般正味財産期末残高	6,184,139,734	6,171,360,445	12,779,289
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	△ 299,961,340	299,961,340
特定資産評価損益等	0	2,942,976	△ 2,942,976
基本財産受取利息	61,037,027	57,606,837	3,430,190
基本財産受取配当金	212,400,000	217,150,000	△ 4,750,000
特定資産受取利息	126,030	220,938	△ 94,908
受取寄付金	4,050,000,000	3,036,150,000	1,013,850,000
一般正味財産への振替額	△ 185,615,565	△ 197,489,595	11,874,030
当期指定正味財産増減額	4,137,947,492	2,816,619,816	1,321,327,676
指定正味財産期首残高	38,438,876,896	38,438,876,896	0
指定正味財産期末残高	42,576,824,388	41,255,496,712	1,321,327,676
Ⅲ　正味財産期末残高	48,760,964,122	47,426,857,157	1,334,106,965

Ⅷ．予算対比収支計算書（収支ﾍﾞｰｽ）（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

Ⅷ－１）　予算対比収支計算書（収支ベース）　（単位：円）

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
Ⅰ　事業活動収支の部					
１．事業活動収入					
①　基本財産運用収入	基本財産運用収入	381,437,027	382,756,837	△ 1,319,810	金融商品の組み替えによる
②　特定資産運用収入	特定資産運用収入	126,030	220,938	△ 94,908	
③　事業収入	公益及び物販収入	1,220,816,787	1,183,686,359	37,130,428	新型コロナによる臨時休館等のため
④　寄附金収入	寄附金収入	4,601,394,025	3,587,544,025	1,013,850,000	寄付受入時の評価額の差による
⑤　雑収入	その他収入	2,232,340	2,323,446	△ 91,106	
事業活動収入計		6,206,006,209	5,156,531,605	1,049,474,604	
２．事業活動支出					
①　事業費支出	仕入高	186,622,015	183,252,042	3,369,973	仕入削減による
	給与手当支出	369,900,535	365,371,312	4,529,223	新型コロナによる残業等減少のため
	臨時雇賃金支出	83,237,483	81,876,354	1,361,129	
	退職給付支出	4,713,962	5,132,410	△ 418,448	
	福利厚生費支出	66,736,550	67,620,237	△ 883,687	
	旅費交通費支出	35,641,077	34,683,326	957,751	
	通信運搬費支出	20,648,908	16,283,379	4,365,529	科目振替による
	什器備品費支出	1,699,926	1,898,262	△ 198,336	
	消耗品費支出	21,745,467	21,071,513	673,954	
	修繕費支出	80,701,263	80,632,081	69,182	
	印刷製本費支出	6,945,977	7,005,938	△ 59,961	
	燃料費支出	2,613,632	2,415,423	198,209	
	光熱水料費支出	30,681,142	29,382,528	1,298,614	
	賃借料支出	25,570,395	25,444,037	126,358	
	保険料支出	16,589,833	16,531,078	58,755	
	諸謝金支出	17,971,153	16,555,477	1,415,676	
	租税公課支出	41,506,319	37,872,531	3,633,788	消費税の減少による
	支払負担金支出	95,000,000	95,000,000	0	
	助成費支出	59,400,000	59,400,000	0	
	寄附金支出	10,000,000	10,000,000	0	
	宣伝広告費支出	55,851,253	62,074,073	△ 6,222,820	作品展示費用増と科目振替のため
	会議費支出	15,602,786	14,435,713	1,167,073	
	交際費支出	2,707,167	2,463,248	243,919	
	委託費支出	71,651,699	71,512,685	139,014	
	雑費支出	27,925,180	27,370,212	554,968	
	小計	1,351,663,722	1,335,283,859	16,379,863	
②　管理費支出	仕入高	0	0	0	
	役員報酬支出	850,000	850,000	0	
	給与手当支出	58,507,332	58,241,715	265,617	
	臨時雇賃金支出	2,384,322	2,523,932	△ 139,610	
	退職給付支出	1,194,266	1,189,209	5,057	
	福利厚生費支出	10,704,525	10,587,308	117,217	
	旅費交通費支出	14,226,124	10,789,784	3,436,340	新型コロナによる出張等自粛のため
	通信運搬費支出	4,739,347	4,855,261	△ 115,914	
	消耗品費支出	1,466,058	1,571,241	△ 105,183	
	修繕費支出	1,660,183	2,241,538	△ 581,355	
	印刷製本費支出	1,272,162	1,202,037	70,125	
	燃料費支出	287,515	213,240	74,275	
	光熱水料費支出	1,584,521	1,581,875	2,646	
	賃借料支出	4,525,014	4,244,110	280,904	
	保険料支出	710,793	761,888	△ 51,095	
	諸謝金支出	3,486,180	3,514,716	△ 28,536	
	租税公課支出	966,772	995,232	△ 28,460	
	会議費支出	8,051,498	5,904,162	2,147,336	採用・育成の延期・規模縮小のため
	交際費支出	808,197	851,833	△ 43,636	
	委託費支出	9,582,326	9,312,031	270,295	
	雑費支出	1,717,819	1,623,068	94,751	
	小計	128,724,954	123,054,180	5,670,774	
事業活動支出計		1,480,388,676	1,458,338,039	22,050,637	
事業活動収支差額		4,725,617,533	3,698,193,566	1,027,423,967	

Ⅷ－２）　予算対比収支計算書（収支ベース）　（単位：円）

勘　定　科　目		予算	決算	差異	備　考
大科目	中科目				
Ⅱ　投資活動収支の部					
１．投資活動収入					
①　基本財産取崩収入	基本財産取崩収入	0	0	0	
②　特定資産取崩収入	芸術祭事業積立資産取崩収入	0	0	0	
特定資産取崩収入	修繕積立資産取崩収入	0	0	0	
特定資産取崩収入	助成事業積立資産取崩収入	0	10,000,000	△ 10,000,000	助成事業積立資産を取り崩し
投資活動収入計		0	10,000,000	△ 10,000,000	
２．投資活動支出					
①　基本財産取得支出	基本財産取得支出	4,054,601,462	3,040,197,242	1,014,404,220	基本財産取得時の評価額の差による
②　その他固定資産取得支出	作品・建物他購入支出	555,395,299	565,599,366	△ 10,204,067	針工場作品維持工事他のため
③　特定資産取得支出	芸術祭事業積立資産繰入支出	36,844,054	36,936,719	△ 92,665	
	助成事業積立資産繰入支出	651	1,408	△ 757	
	修繕積立資産繰入支出	46,501,325	46,502,811	△ 1,486	
	事務所建設積立資産繰入支出	0	0	0	
④　敷金支出		0	1,000,000	△ 1,000,000	犬島施設の敷金支出による
投資活動支出計		4,693,342,791	3,690,237,546	1,003,105,245	
投資活動収支差額		△ 4,693,342,791	△ 3,680,237,546	△ 1,013,105,245	
Ⅲ　財務活動収支の部					
１．財務活動収入					
①　借入金収入	長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計		0	0	0	
２．財務活動支出					
①　借入金返済支出	長期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
Ⅳ　予備費支出		0	0	0	
当期収支差額		32,274,742	17,956,020	14,318,722	
前期繰越収支差額		28,220,457	28,220,457	0	
次期繰越収支差額		60,495,199	46,176,477	14,318,722	

Ⅸ. 島別施設別収支計算書（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）【参考用】

（単位：千円）

勘　定　科　目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中	李	銭湯	ANDO	六区		女根＆ ﾚｱﾝﾄﾞﾛ	計
Ⅰ　事業活動収支の部									
1．事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	381,379	81,439	22,890	46,929	3,355		0	**535,991**
	公益販売事業収入	128,450	19,308	18,565	6,982	44		0	**173,349**
	小計	509,829	100,747	41,454	53,910	3,399		0	**709,340**
その他収入	雑収入他	87	45	0	28	0		53	**212**
事業活動収入計		**509,916**	**100,792**	**41,454**	**53,938**	**3,399**		**53**	**709,551**
2．事業活動支出									
事業費支出		311,128	55,119	43,824	18,903	453		3,275	**432,701**
事業活動支出計		311,128	55,119	43,824	18,903	453		3,275	**432,701**
事業活動収支差額	【決算】	**198,787**	**45,673**	**△ 2,369**	**35,035**	**2,946**		**△ 3,222**	**276,850**
	【予算】	211,191	47,550	△ 1,784	35,521	2,914		△ 3,298	**292,094**
	増減	△ 12,404	△ 1,876	△ 585	△ 487	32		76	**△ 15,244**

勘　定　科　目		犬島・豊島・小豆島グループ							
大科目	中科目	犬島	豊島美・森	ボル	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計
Ⅰ　事業活動収支の部									
1．事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	78,052	148,306	25,188	24,894	3,904	10,409	4,166	**294,919**
	公益販売事業収入	38,248	119,494	14,332	2,993	405	758	3,198	**179,428**
	小計	116,301	267,800	39,520	27,887	4,309	11,167	7,363	**474,347**
その他収入	雑収入他	1,162	61	55	37	10	26	4	**1,354**
事業活動収入計		**117,462**	**267,860**	**39,575**	**27,924**	**4,320**	**11,192**	**7,367**	**475,700**
2．事業活動支出									
事業費支出		119,379	199,379	22,646	22,130	4,566	7,004	7,855	**382,961**
事業活動支出計		119,379	199,379	22,646	22,130	4,566	7,004	7,855	**382,961**
事業活動収支差額	【決算】	**△ 1,917**	**68,482**	**16,929**	**5,794**	**△ 247**	**4,188**	**△ 488**	**92,740**
	【予算】	83	77,422	17,298	6,085	△ 458	4,317	△ 578	**104,168**
	増減	△ 2,000	△ 8,940	△ 369	△ 292	211	△ 129	89	**△ 11,428**

令和２年５月８日

公益財団法人　福武財団
理事長　福武　總一郎　　殿

公益財団法人　福武財団

監事　沼　澄夫　印

監事　辰巳哲洋　印

監査報告書

私たち監事は、平成３１年４月１日から令和２年３月３１日までの公益財団法人福武財団の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する第 99 条第 1 項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 33 条第２項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2　監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以　上